

「2012年 病院看護職員の勤務等実態調査」の概要

[対象] 長野県のホームページに公開されている病院・診療所名簿をもとに病床数に応じた層化抽出を行い、病院の抽出には各層の構成比に応じた比例割当法を用いて、無作為に 30 病院を抽出した。その 30 病院の全看護職員（非常勤、パートも含む）約 3,839 名が対象である。

[調査方法] 郵送による自記式の質問紙調査

[調査期間] 2012年7月1日～7月31日

[回収状況] 2,916 件（回収率：76.0%）

1. 回答者の属性

[回答者の勤務する病院の属性] (n=2,916)

- 1) 開設者（経営主体）「日赤・厚生連・地方独立行政法人などの公的病院」39.9%、「市町村」20.3%、「医療法人」21.9%、「国」16.7%、「私立学校法人・社会福祉法人」1.3%
- 2) 許可病床数「99床以下」13.1%、「100～199床」14.1%、「200～299床」21.4%、「300～399床」17.6%、「400床以上」33.5%

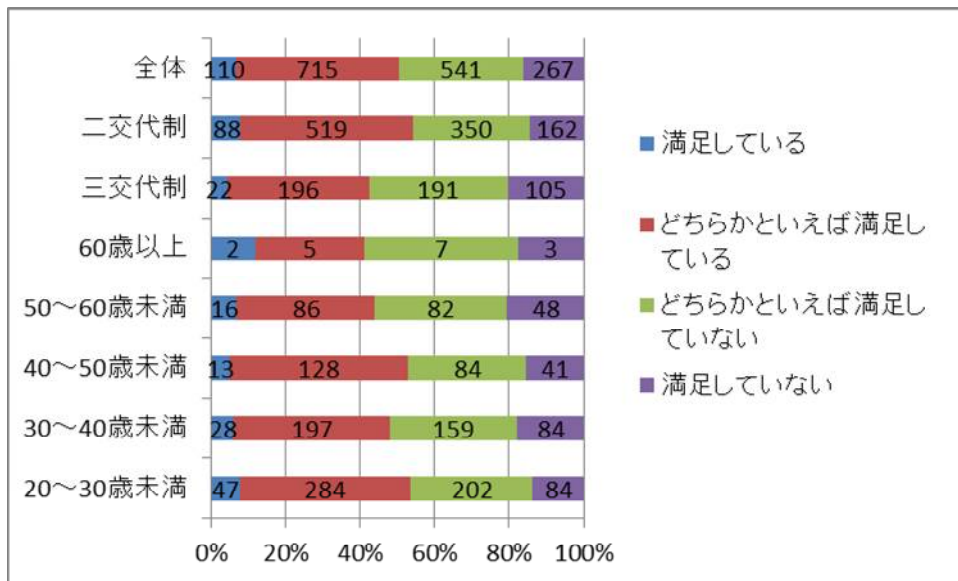
[回答者個人の属性] (n=2,916)

- 1) 職位「スタッフ」82.6%、「中間管理職（看護師長、副看護師長、主任など）」13.2%、「管理職（看護部門全体の長またはそれに準じる職位）」1.4%
- 2) 性別「男性」6.7%、「女性」92.4%
- 3) 年齢「20代」25.7%、「30代」27.6%、「40代」20.4%、「50代」19.5%、「60歳以上」3.4%
- 4) 雇用形態「フルタイム勤務の正規職員」80.7%、「短時間勤務の正規職員」1.9%
- 5) 勤務形態「三交代制勤務（変則含む）」19.0%、「二交代制勤務（変則含む）」41.5%、「日勤のみ」29.2%
- 6) 所属する看護単位「一般病棟」49.0%、「外来」13.8%、「療養病棟」8.6%、「手術室」4.2%、「集中治療室」3.8%
- 7) 一般病棟の看護職員配置基準（n=1,430）「7対1」71.9%、「10対1」18.1%

2. 夜勤・交代制勤務の状況

1) 夜勤交代制勤務の勤務計画表に対する満足度（回答者 1,633 名）

図 2-1) 夜勤・交代制勤務の勤務計画表の満足度 [年齢階級別・勤務形態別]



全回答者のうち「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた「満足している」と回答した者は 50.5%であった。

三交代制勤務者より二交代制勤務者のほうが満足度は高かった。

満足していない主な理由は「勤務計画表の提示時期が遅い」「休日出勤が多い」であった。

2) 深夜勤あるいは夜勤に関する就労制限

交代制勤務者について適応の対象となった者のうち「母性保護による就労制限」の適用を受けた者は約半数、「育児による就労制限」の適用を受けた者は約 2 割、「介護による就労制限」の適用を受けた者は約 6%であった。

3. 三交代制勤務の状況

1) 夜勤回数は月平均 8.4 回であった。2007 年度の当協会の調査では 8.7 回であった。

また 1 か月間に 9 回以上の夜勤を 50.6%が行っており、深夜勤を 2 連続行った者は 19.9%あった。

2) 「日勤→深夜勤」のシフトを 89.2%が行っていた

「準夜勤→日勤」のシフトを行った者は 7.4%であった。

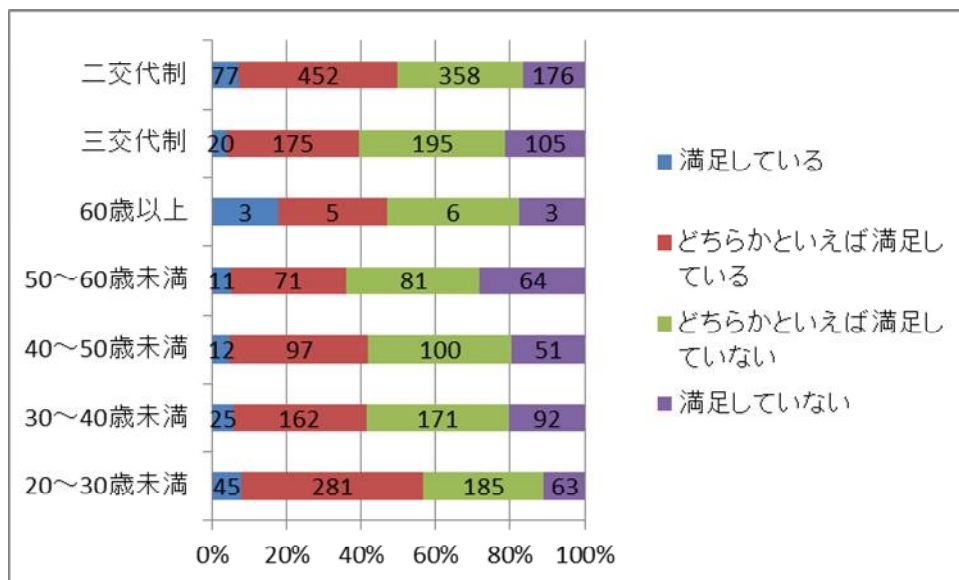
4. 二交代制勤務の状況

- 1) 夜勤の拘束時間は、16時間未満が25.5%、16時間以上が74.4%であった。
- 2) 夜勤回数は月平均4.3回であった。2007年度の当協会の調査では4.8回であった。
また、1か月間に5回以上の夜勤を45.1%が行っており、夜勤を2連続で行った者が17.3%あった。
- 3) 日勤時の休憩規定時間数は「60分以上」が74.2%であったが、平均で取れた時間数は、「60分未満」が72.4%であり、規定時間数の休憩が取れない者が多かった。
- 4) 夜勤時の仮眠と休憩を合わせた規定時間は、「1～2時間未満」が45.1%、「2～3時間未満」が42.8%であり、平均でとれた仮眠と休憩の時間数は「2時間未満」が62.5%であり、平均で取れた仮眠の時間数は「2時間未満」が84.1%であった。
- 5) 夜勤時の仮眠の環境では、看護職のための仮眠専用の個室があると回答した者は47.5%であった。
また必要な数の個室が用意されている者は76.7%、個室の設置場所が看護単位内または隣接が86.7%、個室に利用者ごとに交換されるシーツ・掛布が用意されている者は50.8%であった。

5. 現在の夜勤体制に対する満足度

交代制勤務（三交代制勤務、二交代制勤務）をしている1,709名のうち回答のあった1,558名についての現在の夜勤体制に対する満足度

図5 現在の夜勤体制に対する満足度



「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた「満足している」者の割合は、二交代制勤務者のほうが三交代制勤務者より高かった。

年齢階級別では若い年齢層のほうが満足している割合は高かった。

6. 有給休暇の取得状況

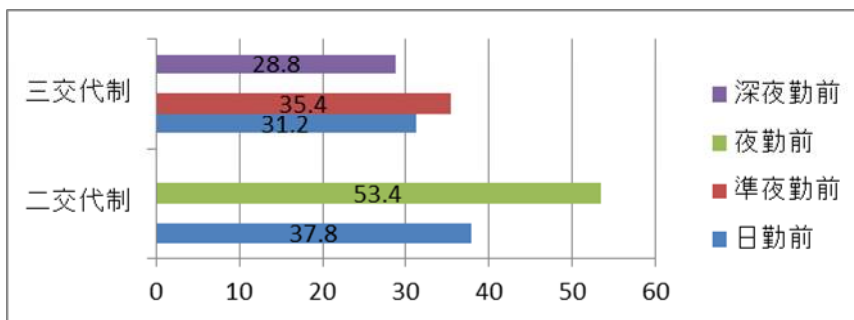
2011年度の全回答者の平均有給休暇取得日数は7.1日であり、0日は11.5%であった。

7. 時間外労働時間（2012年6月1か月間）

1) 交代制勤務者かつフルタイム勤務の正規職員1,650名の平均時間外労働時間（研究・研修時間を含む）は、三交代制勤務者11.9時間、二交代制勤務者17.2時間であった。

2) 交代制勤務者1,709名の勤務前時間外労働時間の平均

図7-2) 勤務前時間外労働時間の平均 単位：分



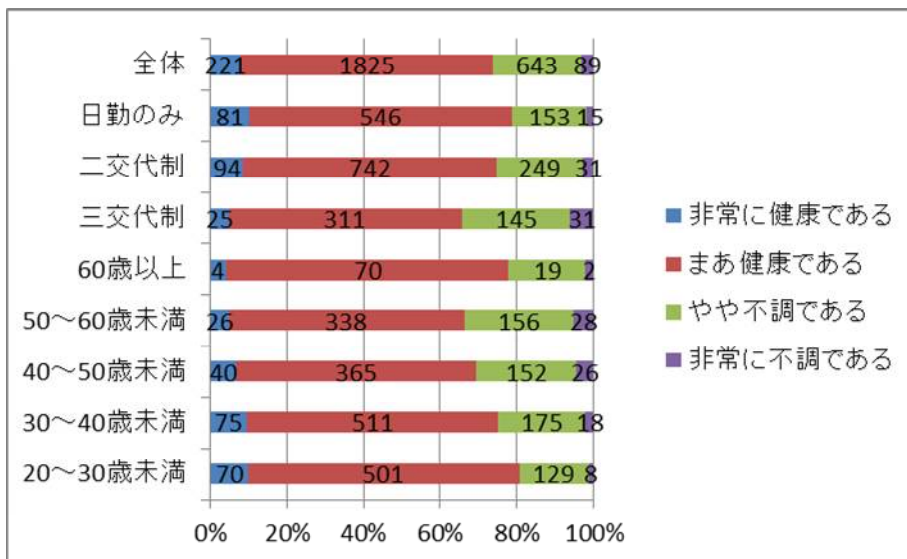
二交代制勤務者の夜勤前時間外労働時間が53.4分で最も多かった。

8. 健康状態と日常生活の時間のゆとり（回答者2,916名）

1) 自覚症状では「肩こり」「疲れ目」「頭痛」「倦怠感」などが多く、「肩こり」は55.2%が自覚していた。また交代制勤務者のほうが「日勤のみ勤務者」より自覚症状を訴える割合が高かった。

2) 健康状態（回答者2,778名）

図一8-2) 健康状態 [年齢階級別・勤務階級別]



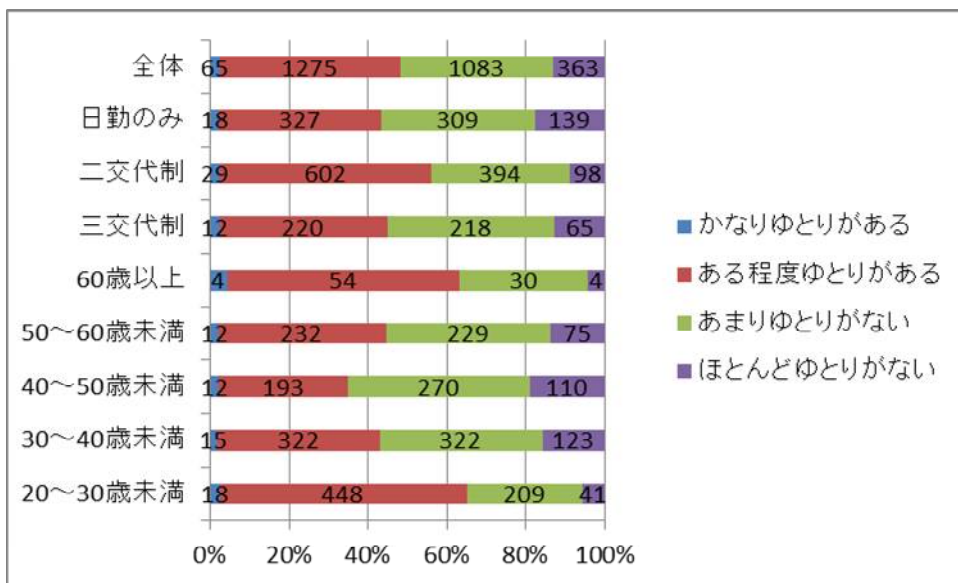
全体では、26.3%が「不調である」と回答した。

勤務形態別では、日勤のみ勤務者より交代制勤務者のほうが「不調である」割合が高く、また三交代制勤務者のほうが二交代制勤務者より「不調である」割合が高かった。

年齢階級別では、若い層ほど健康であるが60歳以上も「健康である」割合が高かった。

3) 日常生活の時間のゆとり (回答者 2,786名)

図一8-3) 日常生活の時間のゆとり [年齢階級別・勤務形態別]



日常生活のなかで、休んだり、好きなことをする時間のゆとりについては、全体では「ゆとりがある」は48.1%で「ゆとりがない」は51.9%でありほぼ同じ割合であった。

年齢階級別では、「40～50歳未満」が最もゆとりがなかった。

勤務形態別では交代制勤務者より日勤のみ勤務者のほうがゆとりがなかった。

また三交代制勤務者のほうが二交代制勤務者より「ゆとりがない」割合が多かった。

9. 離職の意向

1) 離職を検討している者は全体で30.1%であった。

2) 離職の理由では「夜勤が辛い」「仕事がきつい」等の労働条件に関するものが18.0%で最も多く、「健康上の理由」が12.3%であった。

また「育児との両立困難」が4.5%「介護・家族等家庭との両立困難」が3.0%であった。

長野県看護協会に対する意見・要望として384件のご意見を頂きました。

その内訳は①給料に関すること 84件 (21.9%) ②看護労働の実態に対する要望 58件 (15.1%) ③看護体制に対する要望 53件 (13.8%) ④年休取得ができない現状に対する要望 40件 (10.4%) ⑤看護師不足の現状に対する要望 35件 (9.1%)

⑥アンケート調査に対する不満 34 件 (8.9%) ⑦夜勤体制に対する要望 29 件 (7.8%) ⑧育児・介護体制に対する要望 30 件 (7.6%) ⑨看護協会に対する要望 21 件 (5.5%) 今後社経委員会で検討していきます。ありがとうございました。

2012年度
病院看護職員の勤務等実態調査
報告書

平成 25 年 2 月
公益社団法人 長野県看護協会
社会経済福祉委員会

〒390-0802 松本市旭 2-11-34
Tel 0263-35-0421 Fax 0263-34-0311